

ざいだん NEWS Vol.5

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団

代表理事 水足 秀一郎

熊本県熊本市中央区
水前寺6丁目18番1号
熊本県薬務衛生課内
<https://kumaisui.jp/>



「あなたにもできます。愛の贈り物」

公益財団法人熊本県移植医療推進財団は、移植医療の普及推進事業を行い、視覚障害者及び臓器不全患者の機能回復に資するとともに、目と臓器に関する保健衛生の知識の普及啓発を図り、もって県民の健康及び福祉の向上に寄与することを目的として活動しております。



代表理事就任挨拶

公益財団法人熊本県移植医療推進財団 代表理事

水足 秀一郎

この度、熊本県移植医療推進財団の代表理事を務めることとなりました。

これまで県医師会の担当理事として財団の活動に携わってまいりましたが、責任の重大さに改めて身の引き締まる思いであります。

移植医療は提供者の尊い意思とご家族の深い理解に支えられ、関係者の努力によりかけがえのない命を次の命へとつなぐ医療です。

今後は、県民の皆様に移植医療について正しい理解を深めていただくための普及啓発を更に進めるとともに、医療機関・行政・関係団体などと連携を強化し、臓器提供から移植に至る体制の充実に取り組んでまいります。

特に、若い世代への教育・啓発にも力を入れ、将来を担う世代に移植医療の意義を伝えて、臓器提供の意思確認や終末期医療への理解に繋がることも期待しております。

皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

スペイン TPM 研修の学びを熊本の現場へ： 実現できる体制整備とは

熊本赤十字病院 第一小児科副部長

余湖 直紀

今回、熊本県移植医療推進財団および熊本県腎移植者の会のサポートを受け、スペインで国際的な臓器提供のトレーニングコース TPM (Transplant Procurement Management) に熊本赤十字病院集中治療科の石藏宏典先生とともに参加しました。

●スペインの圧倒的な体制整備

スペインは世界で最も人口当たりの臓器提供率が高く、30 年以上の歴史を持つトレーニングコースを有しています。研修を通じて強く感じたのは、臓器提供率の差は圧倒的な体制整備と労力投入の差でした。日本では文化的背景や宗教が要因として挙げられますが、それ以上に国家的な体制整備と人的・金銭的資源の投入に大きな違いがありました。

●積極的なドナーを探すシステム

スペインでは臓器提供の可能性のある患者を見逃すことを社会的損失として捉えています。コーディネーターには強い権限と責任があり、待つのではなく積極的に病院の各ユニットや管轄地域に赴き、可能性のある患者を探すことが求められます。ドナー候補の発見が病院収入につながる仕組みも構築されています。

また、科学的アプローチとして病院規模ごとのドナー候補者数を把握し、提供に至らなかった要因を分析することが重要視されています。心停止下の臓器提供についても、日本とは全く異なる国家的体制で取り組んでいます。

●日本で実現可能な体制整備

スペインのような体制整備には時間を要しますが、日本で実行できる取り組みとして以下が考えられます

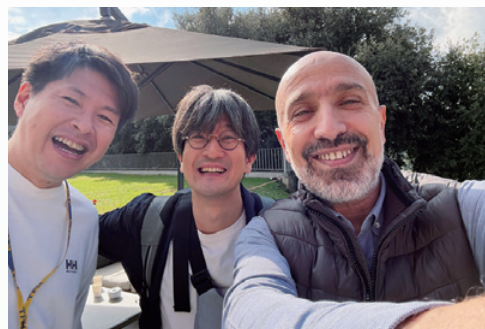
1. 情報把握の徹底化 …ドナー候補の人数把握など
2. 統括体制の構築 …コーディネーターを中心とした組織作り
3. 医療者への教育 …研修で特に強調されていた重要項目

特に教育面では、スペインで 65 歳以上からの臓器提供が最多となっている現状を踏まえ、日本でも End of Life Care の選択肢として臓器提供を考える体制整備を合わせて構築する必要があります。

今回のスペイン研修で得た知見を活かし、熊本の地域医療において実現可能な改善策から着実に取り組んでいき、一歩ずつでも前進していきたいと考えています。



余湖医師、Marti Manyalich 博士



石藏医師、余湖医師、Dr. Mahmoud Sami

黄色い羽根募金

令和7年11月9日（日）に熊本県腎移植者の会主催の「黄色い羽根街頭募金」に参加しました。令和7年度はマクドナルド熊本新市街店前の下通アーケードで行われ、足を止めて募金していただいた方のおかげで7,847円の募金がありました。このほか、当財団も共催し、熊本県腎移植者の会主催で、熊本県内の病院・診療所・薬局へ黄色い羽根募金の協力依頼を毎年行っております。令和7年度は1,280,078円の募金が集まりました。また、本募金の一部を資金として前ページに掲載しているスペインTPM研修受講に対する支援もいただきました。熊本県腎移植者の会の皆様には、日頃から当財団の活動にご協力をいただきありがとうございます。



グリーンリボンキャンペーン

10月の「臓器移植普及推進月間」にあわせて、県内医療機関及び県庁において、移植医療の普及及び臓器提供意思表示に関する啓発活動を実施しました。令和7年度は新たに荒尾市立有明医療センター様に啓発コーナーの設置にご協力いただきました。

【グリーンリボンキャンペーン御協力施設】

（五十音順、敬称略）



荒尾市立有明医療センター



熊本医療センター



熊本県庁



熊本赤十字病院



熊本労災病院



済生会熊本病院

グリーンライトアッププロジェクト ～移植医療の希望の光を届けよう～

臓器移植法が施行された10月16日のグリーンリボンデーを中心に、県内の様々な施設を移植医療のシンボルカラーである“グリーン”にライトアップしました。この光には、ドナー（臓器提供者）への感謝、移植を待つ人や医療者へのエールが込められています。

令和7年度は、県内の医療機関や企業商業施設、飲食業、教育関係施設など39施設にご協力いただきました。
 （敬称略、順不同）



熊本城



アミュプラザくまもと



グリーンランド 大観覧車



SAKURAMACHI Kumamoto



(株) 鶴屋百貨店



(株) 古荘本店
ubusuna ビル2階



KM バイオロジクス (株)



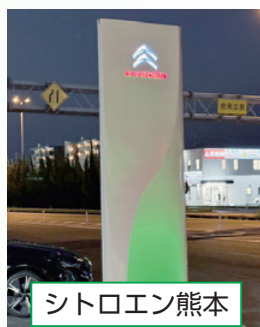
(株) 熊本ホテルキャッスル



熊本県医師会



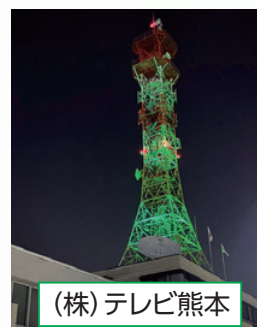
白鷺電気工業 (株)



シトロエン熊本



熊本大学病院 時計塔



(株) テレビ熊本



九州中央リハビリ
テーション学院



味千ラーメン本店



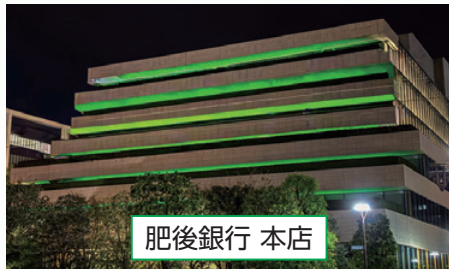
味千ラーメン光の森店



味千ラーメン東バイパス店



味千ラーメン富合店



肥後銀行 本店



ホテル日航熊本



阿蘇ハイランド開発(株)
コスギリゾート



平田機工(株)



熊本トヨタ自動車(株)本社



(株)コスギ不動産
ホールディングス本店



(株)MATSUKI 本社



(株)MATSUKI 港事業所



(株)MATSUKI 配車センター



熊本医療センター 駐車場大楠



医療法人創起会
くまもと森都総合病院



いわた平成眼科クリニック



JCHO熊本総合病院



熊本市市民病院



熊本赤十字病院



熊本労災病院



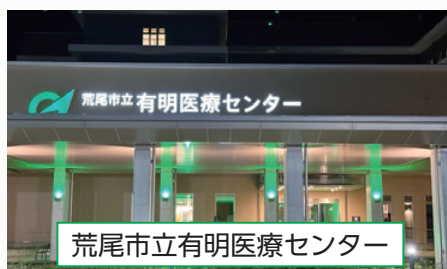
済生会熊本病院



熊本機能病院



天草地域医療センター



荒尾市立有明医療センター



阿蘇医療センター

移植医療市民公開講座 2025

令和7年度は「“そのとき”って、どんなときだろう？」をテーマに、実際に移植をうけられたレシipientの武政希昊さん（たけまさのぞみさん）とお父様の晴信さんに移植までの「そのとき」と、「そのときを越えて、今を生きる」と題しご講演いただきました。希昊さんから実体験や思いを聞き、会場では涙する方もいらっしゃいました。後半は、マスメディアからみた移植医療と題し、新聞記者の林田賢一郎さんのこれまでの取材を基に移植医療の第一線で御活躍されている熊本県内医療施設の先生方、コーディネーターを交え、ディスカッションを行いました。また、最後は、ゲストの慶徳二郎さんによる臓器移植のQ & Aに関するトークコーナーを設け、参加者の方々と臓器移植のことを一緒に考え、より知っていただく機会となりました。



終了後のアンケートには、意思表示に対して再確認ができたとの回答が多くあり、この講座をきっかけに家族で移植医療について“そのとき”の話をさせていただききっかけとなることを願います。



出前講座の実施

学校、団体等に県臓器移植コーディネーターや移植医等を講師として派遣し、移植医療についての講義を実施しています。令和7年度は、6月18日に城東さわやかクラブ様、6月24日に天草市立稜南中学校1年生、9月5日に熊本ロータリークラブ様、12月20日に熊本市立山ノ内小学校PTA様、令和8年2月4日に江南ロータリークラブ様からの依頼を受け出前講座を行いました。



城東さわやかクラブ様



熊本市立山ノ内小学校 PTA 様

今後、県民の皆様に移植医療に対する普及啓発を進めるため、出前講座を実施していきます。出前講座のご依頼については当財団事務局まで随時お問合せください。

寄付金贈呈

令和7年10月2日、熊本トヨタ自動車株式会社様より、当財団へ40万円のご寄付をいただきました。このご寄付は、同社が推進される社会貢献活動「熊本トヨペットハイブリッド基金」から拠出いただいたもので、この基金は環境にやさしい電気自動車（EV）およびハイブリッド車（HV）の販売1台につき1,000円を積み立て、地域社会に貢献することを目的とされています。この度は、2024年度の販売実績である計3,875台分の一部を、移植医療の普及・支援のためにとご寄付いただきました。贈呈式では、同社の地域貢献に対する温かい想いを拝受いたしました。いただいた寄付金は、今後の移植医療の啓発活動や患者様への支援活動に大切に活用させていただきます。熊本トヨタ自動車様の多大なるご支援に、心より厚く御礼申し上げます。



寄付・賛助会員へのご協力のお願い

当財団では、賛助会員を募集しております。移植医療でしか救うことができない命があります。移植医療を深く理解していただくため、皆様から集められた会費は、移植医療の啓発活動等に活用しています。一人でも多くの移植を待っている方へ「思い」が届けられますよう、温かいご支援をお願いします。寄付も随時受付けておりますので、ご協力をお願いします。

※なお、令和7年4月23日以降に当法人にいただいた賛助会費・寄付金は、一定の割合で税額控除の対象となります。
 税額控除額＝（年間の寄附金合計額－2,000円）×40％

賛助会員 法人会員 一口 10,000円/年 個人会員 一口 3,000円/年
 ※いずれも口数に制限はありません。

振込先 銀行名：ゆうちょ銀行 口座名：公益財団法人 熊本県移植医療推進財団
 口座記号：01740-1 口座番号：145335

令和7年度寄付・賛助会員のご芳名(敬称略)

寄付 (敬称略)

一般財団法人化学及血清療法研究所	2,000,000 円	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	72,845 円
熊本県腎移植者の会	500,000 円	リバテープ製薬株式会社	21,152 円
KMバイオロジクス株式会社	500,000 円	合資会社 中島石油	18,605 円
熊本トヨタ自動車株式会社	400,000 円	熊本ロータリークラブ	10,000 円
社会福祉法人 むべの里光栄	253,676 円	熊本江南ロータリークラブ	10,000 円
熊本赤十字病院	250,224 円		
城本 壽美夫	100,000 円		

法人会員 (口数・五十音順・敬称略)

熊本県腎臓病患者連絡協議会	10 □	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院	1 □
肥後交通ホールディングス株式会社	10 □	熊本大学大学院生命科学研究部眼科学講座	1 □
医療法人レチナ いでた平成眼科クリニック	5 □	熊本大学病院 泌尿器科	1 □
熊本赤十字病院	5 □	医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院	1 □
熊本大学病院	5 □	独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院	1 □
社会医療法人愛育会 福田病院	5 □	グリーンランドリゾート株式会社	1 □
株式会社 MATSUKI	5 □	株式会社 KKT イノベート	1 □
株式会社 大塚食品	4 □	医療法人ウェルビーイング 健軍熊本泌尿器科	1 □
株式会社 九建総合開発	3 □	医療法人武藤会 甲佐眼科クリニック	1 □
株式会社 九建	2 □	医療法人眼科 古嶋医院	1 □
株式会社 九建運送	2 □	税理士法人 さくら熊本パートナーズ	1 □
合資会社 中島石油	2 □	白鷺電機工業株式会社	1 □
株式会社 未来樹	2 □	医療法人幸翔会 瀬戸病院	1 □
やつしろ眼科	2 □	医療法人社団至福会 添島歯科医院	1 □
医療法人米村会 米村眼科医院	2 □	医療法人 たさき眼科クリニック	1 □
医療法人社団松下会 あけぼのクリニック	1 □	株式会社 鶴屋百貨店	1 □
医療法人社団坂梨会 阿蘇温泉病院	1 □	株式会社 TKUヒューマン	1 □
有限会社 インターフェイス	1 □	株式会社 テレビ熊本	1 □
大津なかしま眼科	1 □	株式会社 D・Bstyle	1 □
株式会社 オジックテクノロジーズ	1 □	医療法人社団永芳会 永芳医院	1 □
独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター	1 □	社会福祉法人 日生会	1 □
株式会社 くまもとKDSグループ	1 □	株式会社 ハートフェルト	1 □
公益社団法人 熊本県医師会	1 □	株式会社 古荘本店	1 □
公益社団法人 熊本県看護協会	1 □	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター	1 □
一般社団法人 熊本県歯科医師会	1 □	宗教法人 法光寺	1 □
公益社団法人 熊本県薬剤師会	1 □	株式会社 前田産業	1 □
一般社団法人 熊本市医師会	1 □	医療法人宮本会 益城中央病院	1 □
一般社団法人 熊本市薬剤師会	1 □	医療法人宏保会 武藤眼科・大久保内科	1 □
熊本県視能訓練士会	1 □	有限会社 大和ゴルフ熊本	1 □
熊本県製薬協会	1 □	社会福祉法人 リデルライトホーム	1 □
医療法人創起会 くまもと森都総合病院	1 □		

個人会員 (口数・五十音順・敬称略)

日高 悠嗣	4 □	富永 智子	2 □	上則 尚子	1 □	角田 隆輔	1 □	町田 二郎	1 □
岡本 哲夫	3 □	濱田 寛尚	2 □	草野 雄貴	1 □	豊田 麻理子	1 □	松尾 剛典	1 □
一二三 倫郎	3 □	宮川 真一	2 □	熊野 清徳	1 □	西野 生子	1 □	宮川 貞雄	1 □
稲葉 一郎	2 □	渡辺 光夫・恵子	2 □	興梠 美智子	1 □	西村 真理子	1 □	宮本 由美子	1 □
大川 正晃	2 □	荒金 太	1 □	越山 靖夫	1 □	濱 伸好	1 □	村口 和彦	1 □
大津 敬一郎	2 □	伊藤 明彦	1 □	神田 裕士	1 □	早川 美彦	1 □	吉川 健二	1 □
河津 延雄	2 □	上田 栄治	1 □	島田 京子	1 □	富士登 謙司	1 □	吉田 清美	1 □
高濱 由利子	2 □	小野 美子	1 □	田中 恵津子	1 □	古瀬 昭夫	1 □	他 4 個人	4 □

支援型自動販売機設置のお願い

賛助会費、直接寄付以外にも間接的に臓器移植をご支援いただく方法として、支援型自動販売機があります。現在、県内ではコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の御協力のもと、独立行政法人地域医療機能推進機構熊本総合病院様、社会福祉法人むべの里光栄様、リバテープ製薬株式会社様、熊本赤十字病院様に支援型自動販売機を設置いただいております。購入された飲み物代金の一部を4施設様より毎月当財団に寄付いただいております。また、新たに合資会社中島石油様所有のビルに支援型自動販売機を設置いただき、令和7年12月1日より飲み物代金の一部を寄付いただいております。

この支援型自動販売機の設置事業にご賛同いただける場合は当財団事務局まで是非お問い合わせください。



社会福祉法人むべの里光栄 様



合資会社中島石油 様

この自動販売機の
売上の一部は、
寄付されています。



グリーンリボンは
移植医療の
シンボルマーク



公益財団法人
熊本県移植医療推進財団



公益財団法人
熊本県移植医療推進財団

※自動販売機に財団の広告を入れて
いただいております。

編集後記

熊本県内で現在腎臓移植を待つ方は、約240名いらっしゃいますが、令和7年度に亡くなられた方から腎臓の提供を受け、移植された方は熊本県内では3名でした。また、熊本県内で角膜移植を待つ方は約90名です。令和7年度の献眼数は9件で19名の方に新たな光を届けることができましたが、依然として腎臓や角膜の移植を希望される方々のすべての望みに応えることができていません。また、臓器提供については認知度が高まっている一方で、意思表示をしている方は少ない傾向にあり、健康保険証の廃止などにより意思表示方法や確認方法にも課題が多くなってきていると思われます。日本もスペインの移植医療体制には及ばない点も多いですが、これからも普及啓発に力を入れ、脳死下臓器提供に関わる医療施設との緊密な意見交換を行い、脳死下臓器提供だけではなく、心停止下臓器提供や角膜提供についても、適切な移植医療が推進されるよう努めてまいります。

●財団問い合わせ先

《臓器提供に関すること》 熊本県臓器移植医療コーディネーター ☎ 080-2759-9467

《献眼(角膜提供)に関すること》 アイバンク担当者 ☎ 080-8373-3346

《問い合わせ先(平日8:30～17:15)》

公益財団法人 熊本県移植医療推進財団 ☎ 096-234-8670

〒862-8570 熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号 熊本県薬務衛生課内